

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [明石市立魚住東中学校] 担当教諭名 [栗村 昌宏] (美術部1・2年 23名)
 交流相手国 [インドネシア]
 海外学校名 [SMA Negari 1 Gianyar] 担当教諭名 [Ni Kadek Yuerna]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	クラブ活動	日本の環境調べ	10
	クラブ活動	構図・下絵制作・本制作	50
	クラブ活動	アートマイル作品の鑑賞	1

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	環境
絵に込めたメッセージ	環境について調べていくと、私たちが住む日本には、こうなればいいと思う良い環境と、こうなって欲しくないと思う悪い環境が両方あることに気付いた。そこで、左端の悪い環境から中央に向かってだんだん良くなる環境を描いた。インドネシアでは環境のために植樹をしていることを相手から学んだことから、私たちが緑を大切にしようという決意を込めて、中央に日本の友だち3名とインドネシアの友だち3名が仲良く植樹しているところを描いた。日本側の環境の部分は、障壁画の名作狩野永徳の洛中洛外図屏風に習って構成した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>【テーマの探究】インドネシア側の提案を受けて「環境」という難しいテーマに挑戦した。テーマが深い分、調べ、まとめ、発表し、話し合うことを繰り返して環境に対する考えや思いを深めていくことができた。</p> <p>【日本の美術】日本の文化である美術を相手に紹介しようと、日本の美術の障壁画について研究した。</p> <p>【フォーラムの充実】生徒たちで相手の書き込みをプリントアウトして掲示し、全員で共有することにより、相手を身近に感じる事ができた。</p>	<p>担当教師の私が校内事情で5月から3年生を担当することとなり、相手の教師と前もって連絡を取り合う時間が十分にとれず、テレビ会議をすることができなかつた。なんとか日程をこなすだけで精一杯で、もっと相手の方々を身近に感じられる取り組みができなかつたことが残念である。</p>

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
完成した日本側の壁画を職員室校長室前に1週間展示して、校内で活動を広報した。	

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8月	相手から「環境」をテーマにしたいと提案があった。夏休みに環境について本やネットで調べてまとめた。	環境というテーマは深くて自分のこととして考えるのに難しいテーマだった。絵でどう表現するのかはさらに難しく、意見を出し合うところから始めた。	部活動
情報収集	9月	まとめたことを発表→意見交換→話し合ってからさらに調べる→まとめる→発表を繰り返して環境に対する考えや思いを深めた。	良い環境を持つ日本と悪い環境を持つ日本が浮き彫りになった。あらためて環境について多くのことを学び、自分たちに何ができるかも考えていた。	部活動
テーマ検討	10月 11月	良い環境を持つ日本と悪い環境を持つ日本をどう伝えるか。良い環境では何を描き、悪い環境では何を描くのか話し合いで絞り込んだ。環境のために自分たちができることについて相手から学び、考えた。	何を描きたいかひとり一人意見を出す話し合いを繰り返す中でどんどん構想が深まっていった。中央に一緒に木を植えているところを描こうという提案に相手からOKが出たときには一体感を感じていた。	部活動
制作	12月	3つのパーツに分けて描いた。 ①汚れた環境 ②きれいな環境 ③みんなで木を植える	調べて学んだことを絵で表現するのに難しいものがあった。絵を描いている途中で何度も模索するように話し合いをしながら制作を進めていた。	部活動
鑑賞	3月	完成作品から両国の絵について感じたこと、相手の絵から読み取れることを作文に書いた。	両国の絵の表現の違い、込められた環境への思いを読み取っていた。環境のために自分も何かしなければと考える生徒が何人もいた。	部活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	相手に日本の文化を伝えようと自分たちで「私の正月調べ」を行い、レポートとしてまとめて相手に紹介した。
異文化の理解	B	3	環境調べに時間を割き、相手の文化についてはあまり調べなかった。インドネシアがいかに関心を持っているかを知った。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	フォーラムをよく活用して相手とコミュニケーションを取った。日本の学校行事を伝えたときには相手が感動していた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	ネットで調べたことをいかに人に分かるように伝えるかを工夫して発信した。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	環境、日本の美術、絵の描き方について、とにかくよく話し合いをした。自分達の間でも相手とも信頼関係を深めることができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	自分たちで役割分担を決めて、グループ内で話し合いをし、全員で情報を共有していた。相手意識を強く持っていた。
学習を追究する意欲	B	5	環境についてそれまであまり考えたことがなかったので一生懸命調べていた。日本の美術や絵の描き方もよく研究していた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	5	日本の逆遠近法を使い、色の重ね方、陰の付け方に工夫を凝らしていた。
作品を鑑賞する力	B	5	相手が描いた絵から相手の意図を読み取っていた。相手と違っている点、共通している点、調和しているところを観察していた。